



# 県民だより

第4号 ●昭和55年12月10日発行 ●編集・発行／栃木県企画部広報課 〒320 宇都宮市埴田1丁目1番20号 ☎0286-23-2158  
●県人口／1,792,205人 男885,553人 女906,652人 ●世帯数489,721世帯(昭和55年10月1日現在 概数)



老人福祉大学校で学ぶ。(七宝焼の実習)

## 老いて 生き

## 生き

## 生き

## 生き

## 生き

## 生き

## 生き

## 生き

## 生き

## 生き

## 生き

## 生き

# やることはまだある。



老人クラブでゲートボールを楽しむ。

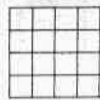


“働ける間は働き続けたい”というお年寄りは多い。

●この広報紙は新聞折り込みによりお届けしています。ご近所で未着の方がありましたら、市役所、町村役場、各県民センター等に届けてありますので、その旨おたえください。

人機が備えてあり、これだけを見て、なんとなく本の館。

・足利図書館：足利市有楽町  
☎0284④8881



### あり

減されなことは、

●中小企業に、  
たに、  
です。/特  
全③退職  
が低利で  
-3217)

●教員資  
育教員、  
を。/試験  
養護訓練  
受けるこ  
しいこと  
3385)へ

●改良普  
改良普及  
/願書の  
受験資格  
(☎0286-

### 催



●特別展  
月20日/  
たちの先  
って、先  
というも

●夏休み  
24日PM  
24日AM  
いありま  
(7月26E

[問] ☎

●松竹大  
浪など三  
衛門、市  
します。/  
2,800円・  
5時です  
[問] 栃

# 生きがいのある豊かな老後の創造

わが国の老人人口は、急速に増加しており、三十五年後には世界で最も老人人口の比率の高い高齢化社会になるであろうと推計されています。欧米諸国は、このような事態に対し、百年から二百年をかけて準備をしてきたのに比べ、わが国ではわずか四十年程で対応しなければならぬ状況にあります。生きがいのある豊かな老後を創造できるように、いま県で進めている生きがい対策を紹介します。

## 生きがい対策

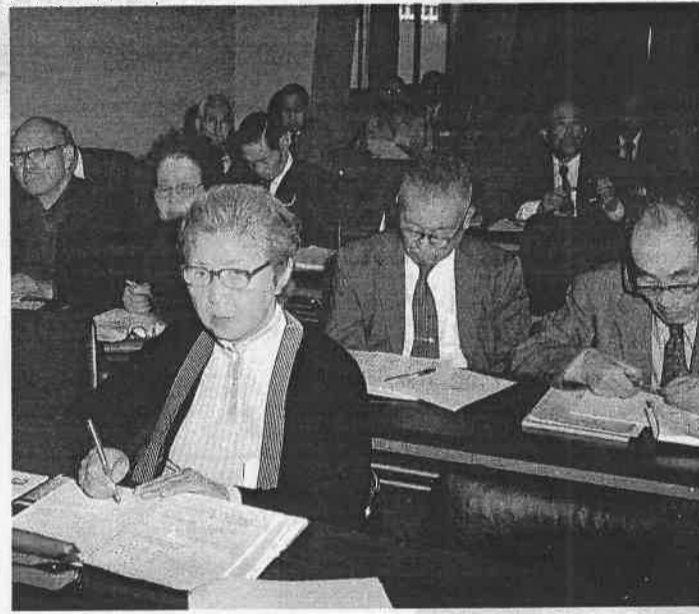
「あなたにとって老後の生きがいは何か」となると、恐らく千差万別ではないでしょうか。「働ける間は仕事を生きがいにしたい」という人や、「社会活動で世の中に役立つ」「子供や孫と一緒に暮らしたい」...

今年一月、県社会福祉審議会から「高齢化社会を迎える今後の老人福祉対策の具体的かつ総合的なあり方」について答申があり、その中で今後の「生きがい対策」は、「学ぶ」「働く」「社会活動」の領域に関する施策を充実することが必要であるとの提言がありました。

働くことに生きがいを見出すお年寄りは大変多いといえます。しかし、定年は一般に五十五歳から六十歳が普通です。一方、平均寿命は年々伸びて、

## 働く

昭和五十五年には、男七十四歳、女七十九歳に近づこうとしています。このような中で、定年後の二十余年の期間をどのように送るかは大変重要な問題といえます。



老人福祉大学の授業風景

このため、県では、九か所の高齢者無料職業紹介所を設置し、働く希望のある高齢者に職業のあっせんや相談、指導を行っているほか、社会奉仕活動に関する相談、あっせんなども行っています。

## 社会活動

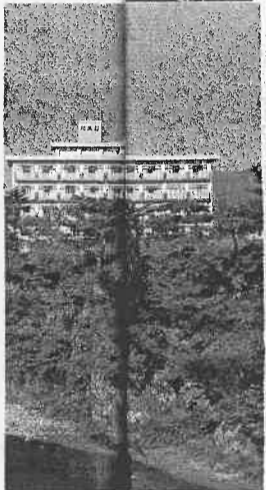
また、就職することになじまない方々のために、自らが事業主体となるようなシルバー人材センターの設置を促進しています。宇都宮市では、来年二月にオープンの手定です。

高齢者の方々の社会的な交流の場として、従来から老人クラブ活動があります。老人クラブは県内全域で組織されており、六十歳以上の方々の六十パーセントが加入しています。クラブ数は二千五百余に達しており、教養の向上、地域社会との交流、健康の増進、レクリエーションなどの諸活動を行っています。最近では、各種の社会奉仕活動や郷土文化の伝承などの活動をすすめています。

また、具体的に活動の場を提供するために、老人福祉センター、老人憩の家、老人作業所、老人休養ホームの整備を進めています。老人福祉センターは、県内に十四か所あり、生活相談、健康相談、生業や就労の指導、機能回復訓練、教養福祉、老人クラブを援助する機能を持っています。老人憩の家は、県内に三十三か所あり、お年寄りの各種の活動の場として利用されています。藤原町にある老人休養ホーム「和楽荘」は、低額な料金で利用できるデラックスな宿泊施設で、県民から親しまれています。

## 学ぶ

お年寄りが自ら生きがいを追求できる「学ぶ」「働く」「社会活動」の三本の柱に沿って、生き



## ご存じですか

### 中央婦人就業援助センター

### 窓口紹介



就業の相談、あっせんを受ける

当センターでは、内職などで働こうとされる家庭婦人をはじめ、身体障害者や高齢者の方々に對する就業の相談、あっせんを行っているほか、就業に必要な各種の技術講習会も開催している。昨年度の相談件数は一万件を越え、内職あっせんは約二千件。



機械編物の講習会

昨年八月に新しい建物に引っ越して、建設物に近代的でスマート。裁などの技術講習会は、すぐ就業に役立つということで、受講者に好評を得ています。中央婦人就業援助センターの利用と詳しいことは、宇都宮市若草町一〇一番地一五 0286-2211610へお問い合わせください。

# 救急医療情報システムが 始動

いつでもどこでも必要に応じて十分な医療が受けられる——医療機関の整備や救急医療体制の確立など地域医療の確保は、私たちの暮らしと健康を守るためになくてはならないものです。県では、休日や夜間に急病になったり、ケガをした場合でも、すぐに病院などで診療が受けられるようにするため、救急医療体制の整備を進めています。この体制が一層円滑に進められるよう、今年十月から救急医療情報システムを始動させました。

## コンピューターが情報を記憶

このシステムは、県内約三百二十の医療機関、十五の消防本部、血液センターなどを電話回線でコンピューターと結びつけ、救急医療に必要な情報（診療ができるかどうか、手術ができるかどうか、血液が足りないかどうか）を集めて、コンピューターに記憶させておいて、必要なときに取り出して救急

## 分の健康は で守ろう

- 健康には日頃から十分気を付けましょう。
- ホームドクター（かかりつけの医師）をもっておきましょう。
- 休日や夜間の急病は、まずホームドクターに相談しましょう。
- 家庭でできる

# 学ぶ

社会変化の著しい現在、高齢者の方々の学習意欲は次第に増大しています。学習は学校教育で終止するのではなく、生涯にわたって学習することが必要ではないでしょうか。

各市町村の公民館では、社会教育としての高齢者教育が盛んで



高齢者無料職業紹介所(宇都宮)



## 巖あれば滝あり 滝の多い町

●塩原町●

「山あれば巖あり、巖あれば必ず滝あり、全嶺にして七十瀑。地あれば泉あり……」

尾崎紅葉は、名作「金色夜叉」の中に、塩原の光景をこのように描写した。

湯の里、もみじの里塩原は、滝の多い町。もみじに彩られた渓谷を見ながら街道を進んでいくと、滝の所在をあらわす標柱が目立つ。町の入口、大網あたりは、車中からも木々の間に滝をみつけることができる。スケールこそ際立って大きい滝はないが、苔むした岩肌を静かに流れ落ちるもの、一筋の細いものから白布を広げたようなものなど、それぞれ趣きのある滝が目を惹かせてくれる。と同時に、滝の名称がなかなか興味深い。「仙鶴(仙人のひげ)」、「抛雪(雪をなげすてる)」、「風箏(風もちあげる)」などなど。七十瀑すべてにこのようなむずかしい名前が



山中に入る。落葉を踏みしめながら、沢沿いの山道を五百メートルほどのぼると、秘境を思わせるような景観の中に、竜化の滝は姿を見せた。つづらおりで落ちてくる滝の迫力に、思わず立ちすくむ。新緑の春、色あでやかな秋、雪の露天風呂と四季を通じて楽しめる塩原に、もう一つの楽しさを見つけた。

「竜化の滝」についているそだ。かつて当町に足を運んだ奥蘭田という偉い漢学者が名付け親とか。また、大雨のときにだけ姿をみせる「まぼろしの滝」もあるという。街道をはなれて、

# とちぎ路スグツチ

## 鍾乳石の観音様 出流山満願寺

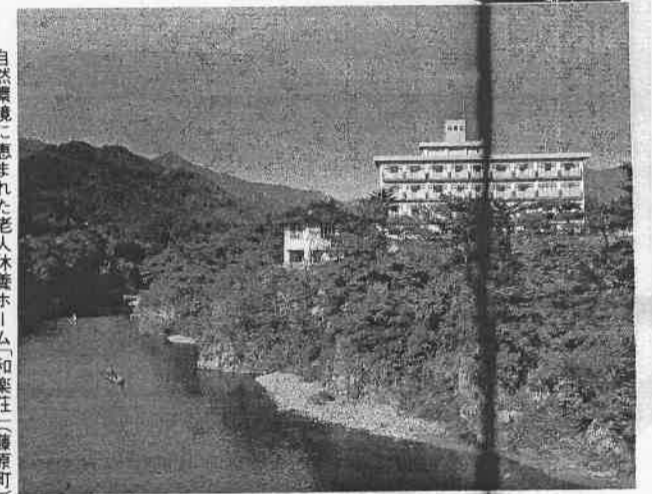
●栃木市●

阿吽一對の金剛力士像に守られた山門をくぐり、石段を登ると、「日本三御堂」の一つに数えられるという「八間四面入母屋造り唐風向拝つき」の本堂がある。



鍾乳洞の拝殿のある「奥の院」

清水の舞台を連想させる。拝殿は何と鍾乳洞。高さ三メートルほどの「一面観音像」は天然の鍾乳石できている。剣ヶ峰の山中には、この他に六つの鍾乳洞があるという。ちなみにこの奥の院、子授け安産のご利益があると云う。帰りがけに山門の近くのお店で食べた手打ちそばの味は格別。「出流行き」で約一時間で行ける。



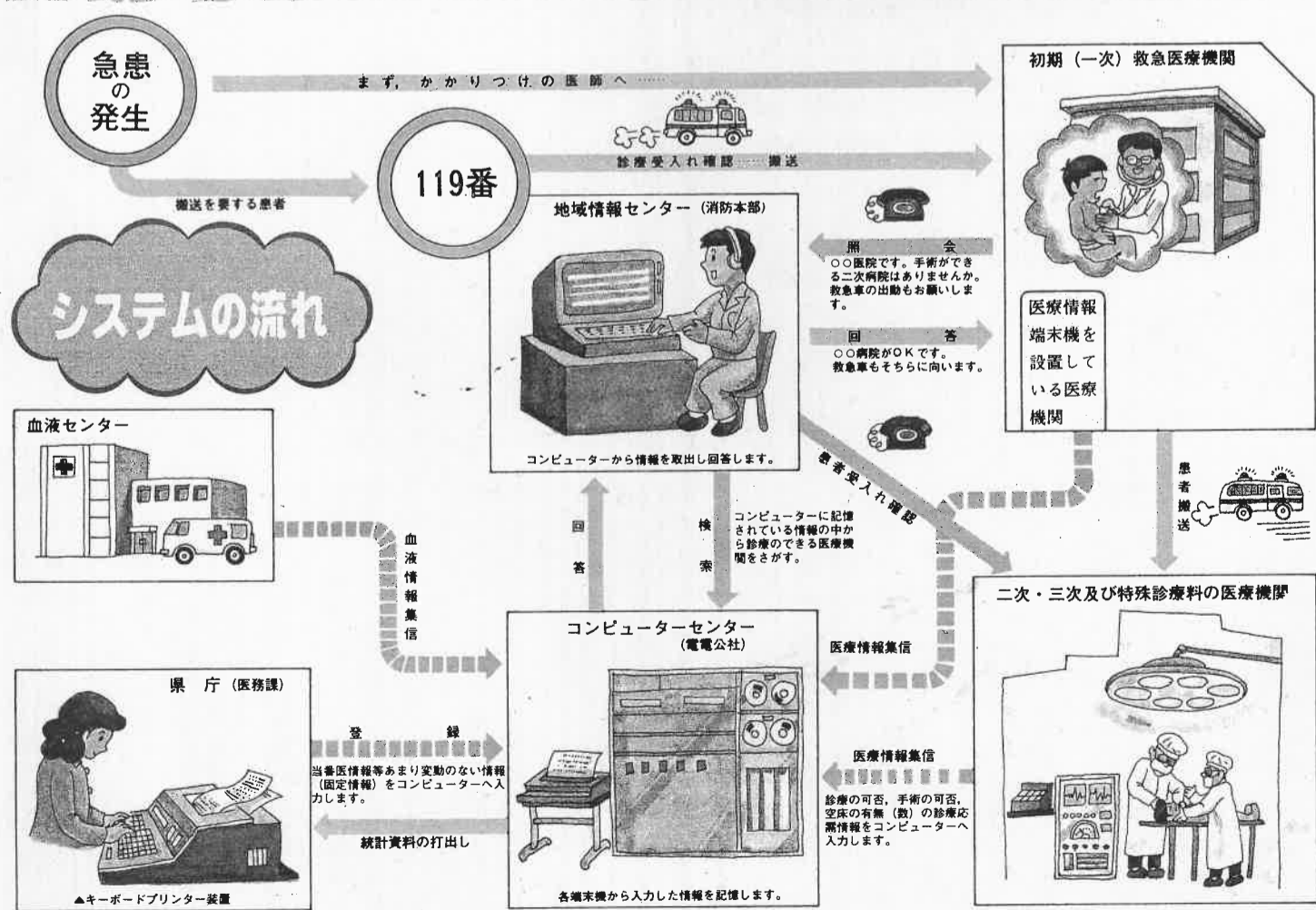
自然環境に恵まれた老人保養ホーム(和楽荘) (鹿沼町)

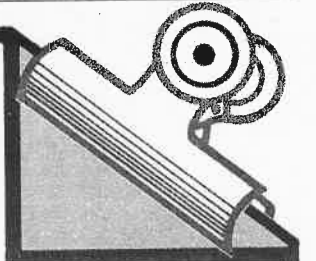
ンピューターと結びつけ、救急医療に必要な情報(診療ができるかどうか、手術ができるかどうか、ベッドがあるかどうか)を集めてコンピューターに記憶させておいて、必要ときに取り出して救急医療に活用するものです。救急医療情報システムの始動により、これまで情報の信頼度が低いために発生していた「患者のタライ回し」という事態は今後なくなるものと考えられます。

病院さがしは消防本部で 救急患者が発生したときは、ま

### 自分の健康は自分で守ろう

- 休日や夜間の急病は、まずホームドクターに相談しましょう。
- 家庭でできる正しい応急手当につけておきましょう。
- 診療時間内に受診するよう心がけましょう。
- 救急車の安易な利用はさげましょう。





# 伝統産業を守る 益子町・県窯業指導所

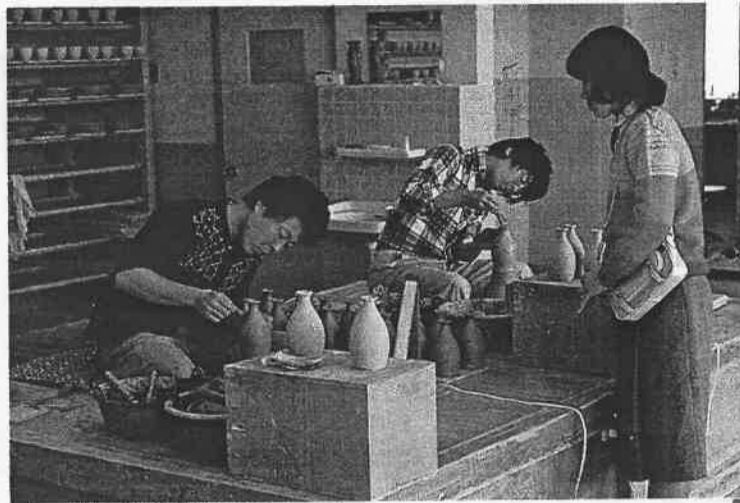


レポーター  
熊田孝子  
宇都宮市駒生町



ロクロ成形で、課題のとつくり製作に取り組んでいる伝習生  
秋の一日、恒例の陶器市で賑わう益子に、県窯業指導所を訪ねてみました。  
指導所は所長さんをはじめ十二名のスタッフ。益子焼を代表とする陶磁器の素地(陶土)や釉薬(陶磁器の絵のど)の試験研究と後継者の育成。そして一般陶業者からの相談や指導という焼きものなんでも屋さん。

窯業指導所の歴史は、明治三十六年、当時益子にあった陶器製造業者が組合を結成して、立派な腕をもった陶工を養成する目的で組合立の「陶器伝習所」を設置したのが始まりだとか。大正二年には町経営の伝習所となつて、徒弟の教育だけでなく一般陶業者のためにも研究を公開し、指導にもあたつたそうです。そして昭和十四年、町から県に移つて現在の名称になつたわけですが、窯業界の後継者養成と技術指導は脈々と受け継が



とつくりの成形に励む伝習生



伝習生作品

もの年に比べて少ないとか。日当りのよい技能者養成室。伝習生の一年はロクロ成形。黙々ととつくりを作り続けている

れているわけですね。現在でも「伝習生」とよばれているのは「陶器伝習所」の名残なんだそうです。  
指導所には現在、伝習生三名、研究生七名がそれぞれ一年の期間で指導を受けていますが、いつ



くれない。だから飽きるとか退屈することはないと伝習生は言う。自分の手が作り出す喜びがあるからこの世界に入ったという伝習生の情熱を感じました。

とつくりが。ていねいに寸法を測つて、またやさしく手を添える。ロクロの回転を止めて、上から横から真剣にみつめる目。見ている私も思わず息を殺して……。  
できたとつくりを糸でまづつに。厚みをみている。納得のいくものができるまでは、作つては壊すの繰り返し。なかなか満足できるものは

まに見ると、手に添え、つとにそりかたの土の

## 木更科

- 12月16日「安心できる食品を食卓に」市場にどっと食品がまわるこのごろ。安心できる食品を食卓に届けるために活躍する保健所職員の姿。新鮮で安心できる食品のチェックポイントも。
- 12月23日「外勤警察官の一日」地域の住民と密着した活動をつづける外勤警察官の一日を紹介。あわせて、歳末の防犯キャンペーンを。
- 12月30日「ふらり宇都宮」黄鮒(きぶな)と豆太鼓。宇都宮に伝わる郷土玩具は、冬渡祭(おたりや)とともに、郷土の心を今に伝える歳末の風物詩。



### 県政テレビ

●毎週火曜日 午前11:35~11:50 ●8チャンネル(フジテレビ)  
●レポーター:高松しげお・森田由紀子

- 1月6日「知事、青年と語る」青年活動をリードする青年達が知事を囲んで語る。青年の社会参加は? 青年への期待は? 同時に過去6回の「栃木県青年の船」の意義をふりかえる。
- 1月13日「時代を先取るママさん」子育てが終った40~50代の主婦の社会参加の意欲は高い。余暇を上手に利用して学び、汗を流す"とんでるママさんたち"の姿を紹介。●1月20日「那須の今昔」那須は四季おりおりの顔をもつ。冬の那須スケッチと、那須岳の麓に生活する人たちを通して、那須の今昔をルポ。
- 1月27日「身近に県政を見る」県民バスに乗って県の施設めぐり。郷土資料館などを訪ねる。

## 募 集

第33回全国植樹祭ポスター・標語 昭和57年5月に本県で開催される第33回全国植樹祭を象徴するポスター原画と大会標語/応募資格=県内にお住まいの方または本県出身の方/(ポスター) B3判、たて書き、文字は入れない。(標語) 官製ハガキ1枚に1点、たて書き/来年1月16日までに県林務観光部全国植樹祭準備室(〒320宇都宮市鳩田1-1-20)へ。[問] ☎0286-23-3307

わが家の家計簿体験談 暮らしを見直す家計簿。家計簿をつけはじめた動機や記帳上の苦心、工夫談など/400字詰め原稿用紙5枚以内にまとめ、月別・項目別支出一覧表を添付/来年2月28日までに栃木県貯蓄推進委員会(〒320宇都宮市鳩田1-1-20県生活課内)へ。[問] ☎0286-23-2153

自治医科大学(昭和56年度学生) 受験資格=高校を卒業した方(見込みを含む)またはこれと同等以上の学力があると認められる方/願書の受付1月9日~16日。試験日1月25日(日)~26日(月)/願書の請求と詳しいことは県医務課または自治医科大学(〒329-04南河内町薬師寺3311の1)へ。[問] ☎02854-4-2111

県南高等看護専門学院(昭和56年度看護学生) 募集人員=専科一部(修業年限2年)40人、専科二部(修業年限3年)30人/応募資格=准看護婦(免許を取得してから3年以上看護業務に従事している方、または准看護婦(出)で高校を卒業した方(見込みを含む)/願書の受付1月5日~24日。試

験日2月5日(木)~6日(金)/願書の請求と詳しいことは同学院(〒328-03栃木市大塚町1258の4)へ。[問] ☎0282-27-7888

歯科技術専門学院(昭和56年度学生) 募集人員=歯科衛生学科30人、歯科技工学科15人。修業年限2年/受験資格=大学入学資格を有する方(見込みを含む)/願書の受付1月12日~21日。試験日2月12日(木)~13日(金)/願書の請求と詳しいことは同学院(〒320宇都宮市陽南4の9の7)へ。[問] ☎0286-59-1921

農業短期大学校(昭和56年度学生) 募集人員=農業科30人、園芸科30人、畜産科20人、生活科20人、経営科30人。修業年限2年/受験資格=高校を卒業した方(見込みを含む)または大学入学資格を有する方/願書の受付1月12日~21日。試験日2月12日(木)~13日(金)/願書の請求と詳しいことは同校(〒321-32宇都宮市上籠谷町1145の1)へ。[問] ☎0286-67-0711

保育専門学院(昭和56年度学生) 募集人員50人。修業年限2年/受験資格=高校を卒業した方(見込みを含む)またはこれと同等以上の資格を有すると認められた方/願書の受付2月2日~10日。試験日2月23日(月)~25日(水)/願書の請求と詳しいことは同学院(〒320宇都宮市若草町492)へ。[問] ☎0286-22-1780

## 催し物

Collection '80(県立美術館) 本年度の新収蔵作品の公開。あわせて同館収蔵品の中から各分野にわたって名品を選抜展示/会期=1月8日(木)~2月11日(水)/入場料=大人100円、大高生60円、中小生40円。[問] ☎0286-21-3566

## お知らせ

年末資金を融資します 県内で1年以上の事業実績がある中小企業者と協同組合を対象に、年末の季節的な運転資金の融資/融資限度額=企業500万円、組合5,000万円/申込みは12月31日までに足利銀行、栃木相互銀行、商工中金、県内に本店のある信用金庫、信用組合の各店へ/詳しいことは融資取扱いの金融機関へ。  
失業者生活安定資金のご利用を 勤めていた会社が倒産し、賃金法が適用されて失業中の方や、職業安定所の指示により公共職業訓練を受けている方を対象/貸付額10万円以内、年利3%、貸付期間3年/申込みは栃木県労働金庫各店へ。  
納税は口座振替で 自動車税、個人事業税の納税に口座振替をご利用しませんか。手続きは簡単。加入申込は取り引きの金融機関(郵便局を除く)または県税事務所。詳しいことは最寄りの県税事務所へ。